

13 次の世代につなげる

取組事例

56

森林をフィールドに子どもの「生きる力」を育む 指導者養成講座

三重県林業研究所



子どもにノコギリの使い方を指導している様子

実施時期	令和5年11月～令和6年1月
実施場所	1回目：速水林業所有の森林及び研修所 2・3回目：三重県林業研究所 4・5回目：国立曽爾青少年自然の家 6・7回目：三重県立熊野少年自然の家
時間	7日間（1泊2日×2回、1日×3回）
対象・人数	指導者として活動する意向のある人 10人（20代～60代）
講師	速水林業 代表 速水 亨氏 天理大学 准教授 蓬田高正氏 国立曽爾青少年自然の家 所長 藤井 玄氏、菱川裕輝氏 遊び心 岡野こころ氏
備考	県主催講座

めざす姿	13 次の世代につなげる 01 遊び・楽しむ 02 親しむ 03 興味・関心を持つ 04 違いに気づく、 06 知識・技能を身に付ける、 08 地域の課題に目を向ける、 10 課題解決への参画、 11 行動を起こす、 12 仲間と活動する)
ねらい	森林をフィールドとした体験活動を推進するため、体験活動にかかる指導者（体験活動指導者）の資質と指導力の向上を図る
内容	【1回目】 フィールド（森林）についての理解 [持続可能な森林利用] 【2回目】 子どもの生きる力を育みむ自然体験活動 ～指導者としての心構え～ 【3回目】 対象者を理解する ～発達段階をふまえた子どもとの関わり方～ 【4回目】 そに森の子キャンプ（国立曽爾青少年自然の家主催）の視察 【5回目】 自然体験活動における安全管理 【6回目】 活動実践① 【7回目】 活動実践②



朝のオリエンテーションの様子



実践のふりかえりをしている様子

参加者の反応	<ul style="list-style-type: none"> • 実際の子供たちの姿を見れたし、動き、感情、モチベーション、得意不得意など、しっかりと関わることができた。 • 室内での講義ではこういったことは分からないことだった。実践が大切だと感じました。 • コーチ陣の具体的で実用的なアドバイスや手厚い支援のおかげで、リーダーとして活動するために必要なこと、大事にしなければいけないことがとてもよく理解できました。そして、青少年教育や社会教育の重要性を改めて実感することができました何よりも本当に楽しかったです。
--------	---